

火災

火災は、ほとんどが人的ミスで起こります。
日頃から心がけることで、未然に防ぎましょう。

備えよう！

日頃の心がけ

放火防止に

家のまわりにごみを置かない。



タバコの始末

寝たばこ、ぼい捨てをしない。



野焼きは法律違反

たき火や野焼きをしない。



台所も注意

火を使っている時はそばを離れない。



ストーブ注意

ストーブの周りにもものをおかない。

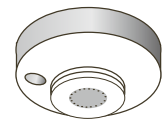


漏電注意

コンセント周りをきれいにする。



Useful information お役立ち情報



住宅用火災警報器 を設置しましょう

火災が発生した場合、煙や熱を感じて警報音などで知らせてくれます。

いざというとき！

火災が起こったら、通報・初期消火・避難が原則です。
逃げ遅れないよう注意しましょう。

1 早く知らせる

火災の発生を周囲に知らせ、小さな火でも必ず119番。



2 初期消火

火が横へ広がっているうちは初期消火を。消火器やバケツ、洗面器など身近なものも利用して消火しましょう。



3 避難

火が天井まで広がったら避難。タオルなどで口や鼻を覆い、煙を吸わないよう姿勢を低くする。



Useful information お役立ち情報

消火器の使い方を覚えておきましょう

1

安全栓を引き抜く



2

ホースをはずし火元に向ける



3

レバーを強く握って火元に噴射する



記入しよう！ 非常持出品と非常備蓄品

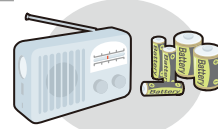
非常持出品を準備しましょう 必要なものをリュックサックなどに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしましょう。

貴重品



現金、預貯金通帳、印かん、健康保険証、住民票のコピー、免許証、権利証書、おくすり手帳など。

携帯ラジオ



小型で軽く、AMとFMの両方が聞けるものが良いでしょう。予備の電池は多めに用意を。

非常食・水 3日分程度



乾パンや缶詰、アルファ化米など、火を使わずに食べられるもの。水はペットボトルで用意。乳幼児には粉ミルクなども忘れずに。

懐中電灯



できれば一人にひとつ用意。予備の電池と電球も忘れずに。

ヘルメット・防災ずきん



頭部のサイズにきちんと合ったものを用意しましょう。

応急医薬品



ばんそうこう、キズ薬、包帯、胃腸薬、鎮痛剤、解熱剤、かぜ薬、目薬など。常備薬の用意も忘れずに。

その他の生活用品



下着・上着、靴下などの衣類、軍手、タオル、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、雨具、ライター（マッチ）、ビニール袋、生理用品、紙の食器、はし、缶切り、栓抜き、ろうそく、ナイフ、ホイッスル、緊急連絡先ノートなど。

非常備蓄品を準備しましょう 非常備蓄品は、安全確保後に取りに行くようにしましょう。

食品 4日以上



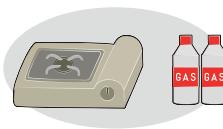
簡単な調理で食べられるものを準備。アルファ化米やレトルト食品、缶詰、ドライフーズ、インスタントラーメン、切りもち、梅干し、チョコレート・アメなど。

水 4日以上



飲料水は1人1日3リットルが目安。生活用水はプラスチックのタンクなどに入れて保存。また、風呂の水を残しておく、生活用水として利用できます。

燃料



カセットコンロ、携帯コンロ、固形燃料などを用意。予備のガスボンベも忘れずに。

生活用品



毛布、寝袋、衣類、洗面用具、トイレペーパー、携帯トイレ、使い捨てカイロ、ドライシャンプー、ビニール袋、キッチン用ラップ、なべ、バケツ、ビニールシートなど。

工具類



救出活動に使えるスコップやバール、のこぎり、車のジャッキ、ロープなどを用意しておくといいでしょう。

定期的なチェックを行いましょう

いざというとき賞味期限が過ぎないように、定期的にチェックしたり、ローリングストック法など活用しましょう。

「ローリングストック法」

食べながら備えるため、消費期限が短いレトルト食品なども非常食として扱えます。

備える

はじめに少し多めに食材を買う



食べる

月に1回程度、日を決めて1食分の非常食を食べる



買い足す

食べた後、1食分を買い足して補充



感染予防対策

マスク・消毒液・体温計

咳エチケット、体温確認、こまめな手洗いなど。



Useful information お役立ち情報

気象庁「キキクル」 (危険度分布)

「キキクル」では、土砂災害・浸水害・洪水災害が危険度の高まりを地図上に色分け表示！常時10分毎に更新しています。

キキクル

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood/zoo>
m:5/lat:34.016242/lon:135.000000/colordepth:nor
mal



ホームページ	説明	URL
気象庁（レーダー・ナウキャスト）	レーダー観測などを基に降水、雷、竜巻の予報を提供	http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/
気象庁（降水短時間予報）	局地的に短時間で降る雨の予測を30分間隔で提供	http://www.jma.go.jp/jp/radame/
気象庁（指定河川洪水予報）	指定河川の水位又は流量を示した洪水予報を提供	http://www.jma.go.jp/jp/flood/
北海道土砂災害警戒情報	土砂災害による被害の防止・被害の軽減のための情報を発表	http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/
川の防災情報	リアルタイム雨量・水位の情報を提供 水防警報、洪水予報やダム放流通知	http://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do
北海道地区道路情報	道路通行止め実施箇所を掲載	http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/
北海道の道路情報総合案内サイト 北の道ナビ	道路交通情報・気象情報・防災情報などが総合的に掲載 峠の現状をカメラ映像で見ることができる	http://northern-road.jp/navi/
北海道防災情報	北海道において発令されている防災情報を提供	(パソコン/スマートフォン) https://www.bousai-hokkaido.jp/ (携帯電話) http://i.bousai-hokkaido.jp/

用語	凡例	説明
収容避難所		避難者を収容するための施設。給食、物資運搬が容易にできる場所。
一時避難場所		緊急避難のため一時的に避難するための最寄りの公園・広場など。
土砂災害特別警戒区域 土石流・急傾斜地		警戒区域のうち土砂災害が発生した場合に建物が破壊され、住民の生命または身体に著しい危害が生じる恐れがあると認められる区域。
土砂災害警戒区域 土石流		土砂災害が発生した場合に住民の生命または身体に危害が生ずる恐れがあると認められる区域。
急傾斜地		土石流が流れてくる危険性があり、家などに被害をもたらす可能性がある箇所。
要配慮者	—	高齢者、障がい者、乳幼児など、災害時に特に配慮を必要とする方々。
避難行動要支援者	—	災害時に自ら避難することが困難であり、特に支援を必要とする方々。